

K 2022 @ デュッセルドルフ – 70 周年を迎えた 世界最高峰の国際プラスチック・ゴム産業展



世界 61 か国からおよそ 3,000 もの企業が
プラスチックの効率的かつ信頼性の高い利用に関する
革新的な技術を紹介

1952 年、プラスチックの大量生産の時代がまさに始まった頃、プラスチック材料をあつかう企業や団体は、Messe Düsseldorf GmbH（メッセ・デュッセルドルフ）の前身である NOWEA – Nordwestdeutsche Ausstellungsgesellschaft と共同で、ポリマー材料の性能と汎用性を証明するイベントの開催を決定した。これが、デュッセルドルフにおける K の『誕生』だ。その初回には 270 社のドイツ企業が参加し、業界関係者や一般消費者に、日常生活をより快適かつ便利にする製品を紹介した。

デュッセルドルフで開催される K は、1963 年には早くも専門家たちが特別な関心を寄せるメッセとなり、プラスチック・ゴム業界にとって世界で最も重要な商談の場として、今日まで輝かしい成功を収めていることに、70 年後の私たちは微笑ましく思うのである。

K 2022 – 世界で最も注目されるメッセ

3 年ごとにデュッセルドルフで開催される K は、2022 年の世界のプラスチック・ゴム業界にとって、最も重要な情報が得られ、商談を行える場としても期待されている。今年も 10 月 19 日から 26 日まで、世界中から出展・来場者がデュッセルドルフに集まり、この業界を牽引する企業が、現在のトレンドやイノベーションを紹介したり、将来の方向性について話し合ったりする機会が設けられている。K ほど国際色豊かな場は他にない。

前回の K には、63 か国から 3,300 社が出展、欧州から 2,344 社、アジアから 828 社、南北アメリカから 143 社、アフリカから 11 社、オセアニアから 4 社、という内訳だった。また、169 か国から来場者を迎え、その 73% はドイツ国外からデュッセルドルフを訪れた。なお、来場者全体の 57% が欧州からで、続いてアジアから 25%、南北アメリカから 13%、アフリカから 4%、オセアニアから 1%と続く。

K 2022 は、新型コロナウイルスの世界的大流行によって引き起こされた変



Messe Düsseldorf GmbH
P.O. Box 101006
40001 Düsseldorf
Messeplatz
40474 Düsseldorf
Germany

Phone +49 211 4560 01
Fax +49 211 4560 668
Internet www.messe-duesseldorf.de
E-mail info@messe-duesseldorf.de

Board of Managing Directors:
Wolfram N. Diener (CEO)
Bernhard J. Stempfle
Erhard Wienkamp
Chairman of Supervisory Board:
Dr. Stephan Keller

County Court Düsseldorf HRB 63
VAT ID number DE 119 360 948
Tax ID number 105/5830/0663

Messe Düsseldorf
memberships:



Public transport:
U78, U79: Messe Ost/Stockumer Kirchstr.
Bus 722: Messe-Center Verwaltung

化の後、プラスチック・ゴム業界に新たな方向性を提案する、まさにそのタイミングに開催される。デュッセルドルフ見本市会場 175,000m²の展示スペースに、世界のプラスチック・ゴム業界の『有力者たち』が、再び勢ぞろいする。

出展製品は、以下のように 18 の展示ホールに分かれている。

- 機械・機器 1、3～4、8b、9～17 号館
- 原材料、補助材料 5～7、7a、8a、8b 号館
- 半製品、技術部品、強化プラスチック製品 5～7、7a、8a、8b 号館

今年も欧米、特にドイツ、イタリア、オーストリア、トルコ、オランダ、スイス、フランス、そして米国からの出展が目立つ。同時に、K は世界市場の変化を明確に反映している。というのも、アジアからの出展者数や展示規模は、ここ数年、常に高いレベルを維持している。とりわけ、中国、台湾、インド、韓国、日本からの参加が多くみられ、来場者に強い印象を与えている。多様で国際的な企業の参加により、世界中の製品、ソリューション、トレンド、イノベーションの全体像が、特別なセグメントにおいても確実に網羅されている。さらに、K 2022 は、業界におけるグローバルな課題について深く議論するだけでなく、その課題に共に取り組むための最良の条件を提供する場でもある。

K に対する高い評価

K は、この分野での確固たる地位を築いている。このことは、出展者数や出展製品の質の高さだけでなく、来場者からの高い評価にも表れている。来場者の 97% は、幅広い技術開発と先進的なソリューションを高く評価している。特に、革新的な技術が数多く展示されていること、マーケットリーダーたちが一堂に会していることについて、来場者から高評価を獲得している。また、プラスチック・ゴム製品のメーカーだけでなく、ユーザー業界も定期的に K を訪れ、自分たちの分野や製品に関するインスピレーション、さらには、将来の国際競争に向けて理想的な準備をするための革新的な技術を得ている。

自動車、包装、電子・通信、建築、医療機器技術、航空宇宙など、さまざまな顧客業界の専門家たちがライン地方に結集し、イノベーションのための国際的な場であるデュッセルドルフ開催 K で、プラスチック・ゴム業界のエキスパートから、現在および将来の応用について学ぶ。

K 2022 では、バリューチェーン全体が独自の広がりとお行きをもって紹介される。そして、ここではゴムも重要な役割を担っている。プラスチック部門に比べると規模は小さいものの、この部門は非常に革新的であり、主要な顧客産業にとっては極めて重要な位置を占めている。

ゴムとエラストマー関連のメイン会場は、今年も 6 号館に設置される Rubberstreet だ。これは 40 年近く前からデュッセルドルフ開催 K で恒例となっているもので、ゴム産業の認

知度を高め、その革新的な可能性を強調する役割を担っている。

K 2022 は、世界中の産業界から高い評価を得ており、その卓越した地位を不動のものにしているだけでなく、現代の重要課題、特にプラスチック・ゴム業界の課題に、常に真摯に取り組んでいる。

K 2022 が重点を置くテーマ

3 年前に開催された前回の K では、すでに全出展者が、マテリアルチェーン全体における運用と、クローズドサイクルの必要性を強調していた。環境適合性、省資源、廃棄物回避に関する解決策について、業界がこれほど一致団結して問題に取り組み、協力し合ったことは、かつてなかった。

それ以来、この開発は非常に速いスピードで進んでいる。K 2022 は、将来的にプラスチックが問題ではなく、解決策の一部になることを証明するものであり、この産業がその責任を負うことを示す場であると言える。

ゆえに、K 2022 の 3 大テーマは、以下の通りである。

- 循環型経済（サーキュラーエコノミー）
- 気候保護
- デジタル化

プラスチックなくして、世界の気候を適切に管理することは不可能である。プラスチックは、軽量構造、E-モビリティ、風力・太陽光エネルギーの利用を可能にする。また、循環型経済は極めて重要であり、デジタル化は透明性と資源効率を高めるために不可欠な要素である。この 3 大テーマは、K 2022 の特別展示でも取り上げられる。

K 2022 では、科学評議会という優秀な専門家集団から、これらのテーマについて高い見識を得ることができる。科学者たちはすでに、検討されるべき課題のリストを作成している。ここでは、複合材料のリサイクル、リサイクル品の標準化、環境中の微粒子、生分解性プラスチック、ポリマー成分としての CO₂ など、5 つのトピックを例として挙げている。

公式特別展『Plastics shape the future』

K の公式特別展『Plastics shape the future』は、今年も 6 号館で開催され、循環型経済への根本的な転換という業界の中核的なメッセージを、それぞれの形式で取り上げる。パネルディスカッションやインフォテインメントに加え、テーマ別の展示や映像プレゼンテーションが行われる予定だ。業界の専門家は、プラスチックがどのように持続可能な未来を形作ることができるか、どのような開発が現在すでに行われているか、どのようなビジョンが将来実現される可能性があるかについて、言及する。さらに、パネルディスカッションには、政治家、社会貢献団体、NGO の代表者も参加する。この K Special は、

PlasticsEurope Deutschland e.V.（欧州プラスチック製品工業協会）とメッセ・デュッセルドルフの後援のもと、ドイツのプラスチック業界が推進するプロジェクトである。

Circular Economy Forum（循環型経済フォーラム）

前回の K で成功を収めた Circular Economy Forum が、K 2022 でも 10 号館と 16 号館の間の屋外スペースで開催される。VDMA（ドイツ機械工業連盟）の会員企業 13 社が、循環型経済を体現し、このテーマの全体像を紹介する。

特別展示 Science Campus

K 2022 の Science Campus は、研究とビジネスの対話の場として位置づけられている。ここでは、出展者や来場者が、プラスチック・ゴム業界における科学的活動や研究成果を凝縮して紹介し、大学や企業との意見交換の機会を提供する。

業界を支える若い人材

プラスチック業界は、若い人材を採用する上で大きな問題に直面している。新卒者は、プラスチック産業で提供されているさまざまな実習プログラムやキャリアの機会を認識していないことが多く、この分野に若者の関心を集めることは非常に困難である。GKV – Gesamtverband Kunststoffverarbeitende Industrie（プラスチック加工産業連盟）は、将来的に若い人材を十分に確保するために、他の協会やメッセ・デュッセルドルフなどの機関と共同で、2010 年には早くも『kai - Sei dabei!』をモットーとするプラスチック教育イニシアチブ（kai）を立ち上げている。また、K 2022 では、展示やパネルディスカッション、実験などの活動を通じて、若い人たちにこの業界を知ってもらうことが狙いである。

Start-up Zone が初登場

スタートアップ企業は、若く、創造的で、柔軟性があり、未来志向で、特に革新的で問題解決型のソリューションにおいては、抜きに出ている。そこで、プラスチック・ゴムの分野で革新的な製品とソリューションの開発に専念しているスタートアップ企業に対して、専用エリアを提供することができれば、これほど素晴らしいことはない。K 2022 では、まさにこのような場を、デュッセルドルフ見本市会場の 8b 号館に、Start-up Zone という形で設置する。

K Community – マルチメディアでインタラクティブに

デュッセルドルフ開催 K の、成功の秘訣のひとつは、常に市場のニーズに焦点を当て、それに対応したコンセプトを開発してきたことだ。今回も、その精神のもと、メッセ開催に先立ちご利用いただける、デジタルコンテンツを拡充している。K は、会期中はもちろん、それ以降も、業界の中心的なコミュニケーションおよび情報プラットフォームとして、主

導的な地位を確立している。

K-MAG

2021年4月より、Kは独自のオンラインマガジン『K-MAG』を発行している。Kに関連するすべての分野を対象とし、国際的なプラスチック・ゴム分野の実態、ニュース、ストーリー、トレンドを、ドイツ語と英語で年間を通して配信している。これらはすべて、メッセの指針的テーマに沿って展開している。そのため K-MAG では、業界関係者やオピニオンリーダーによる前向きな寄稿を集めた『Industry Voices』、最新の研究成果を報告する『Science News』、若い才能に特化した記事やアドバイスを掲載する『Young Professionals』、日常や歴史、各国のプラスチックにまつわるカラフルな話題をピックアップした『Apropos K』などの、さまざまなコーナーを設けている。また、K-MAG の魅力を最大限に引き出すため、特集、ニュース、インタビュー、ビデオ、フォトギャラリーなど、さまざまなフォーマットでコンテンツを提供している。URL は mag.k-online.de だが、K-MAG は一般のウェブサイト (www.k-online.de) から、もちろんアクセス可能である。

K-monthly

K-monthly は、K 公式ウェブサイト、または K-MAG から登録することができる、K の新しいニュースレターの名称である。K-MAG の最新ニュースやストーリーだけでなく、K や国際色豊かな Global Gate 各展の最新情報も配信する。

K-Talk

K 2022 は、業界を代表するビッグイベント、新企画『K-Talk』を、すでに実施している。2022年1月からKが行われる秋まで、毎月開催される K-Talk では、業界の専門家、科学者、ユーザー企業の代表者、政治家、メディア、NGO 関係者など、国際的な参加者による刺激的なパネルディスカッションが繰り広げられている。K-Talk は、プラスチックの用途や技術革新に焦点を当て、この分野における重要な課題について、貴重な洞察を提供している。具体的な成功事例や長期的な未来戦略など、パネリストのビジョンや異なる視点は、インスピレーションを与え、方向性を示し、交流を促進させる。K-Talk は、k-online.com を通じてライブ配信、英語で実施されている。また、質疑応答の際には、チャットで質問を受け付けており、積極的な参加を募っている。

K アプリ、マッチングツール

K の会期前や開催期間中に、最新の情報を入手したい場合には、スマートフォンへ、K アプリ (iOS / Android) のダウンロードをお勧めする。このアプリがあれば、業界全体のニュースやメッセに関する役立つ情報を、すべてのユーザーがいつでも簡単に呼び出すことができる。また、このアプリから、すでに公開されている出展企業データベースへのアクセスも可能である。

2022年8月にリリース予定のマッチングツールを使用すると、興味の対象と検索条件を入力するだけで、来場者および全出展者のなかから最適なコンタクト情報を検索することができる。関心事をすばやくマッチングさせることで、お勧めの製品や提案を個別に、そして即座に提供することができる。これにより、出展者と来場者が事前にコンタクトを取ったり、Kの開催期間中に予定を調整することが可能になる。

デュッセルドルフーライン河畔の活気溢れるメトロポリス

多面的で活気に満ちた国際都市デュッセルドルフは、長年にわたり、世界で最も住みやすい都市ベスト10にランクインしている。ノルトライン=ヴェストファーレン州の州都であるデュッセルドルフは、ショッピングやライフスタイルの中心地であるだけでなく、欧州で最も充実した研究・教育クラスターに囲まれた、国際ビジネスの重要な拠点でもある。さらに、通信、交通、宿泊、エンターテインメントなどのインフラも充実している。デュッセルドルフ空港と見本市会場を結ぶシャトルバスは頻繁に運行しており、タクシーで短時間移動することも可能である。デュッセルドルフは、ダイナミックでコスモポリタンな雰囲気だけでなく、ラインラント特有の陽気な街としても知られている。デュッセルドルフの有名な旧市街は、メッセの一日を優雅に過ごすには最高の場所である。